

経営比較分析表（令和2年度決算）

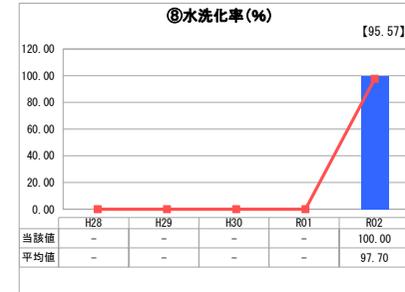
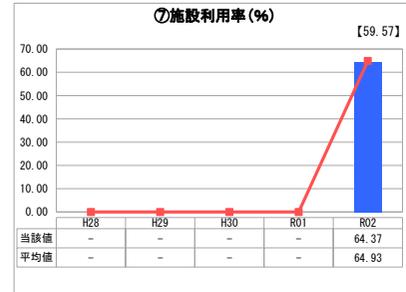
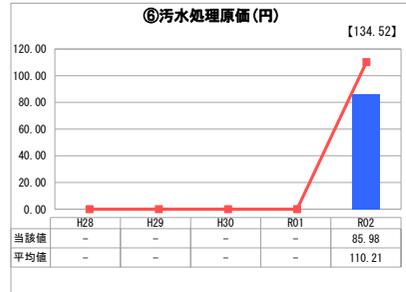
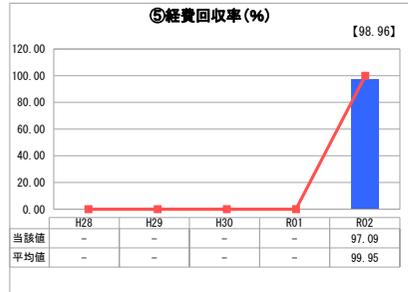
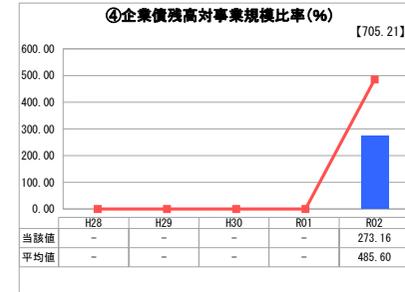
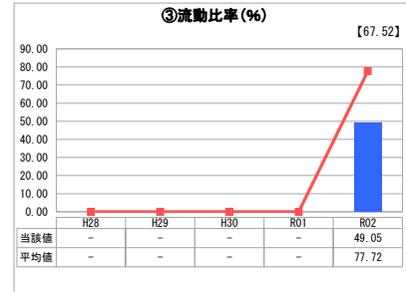
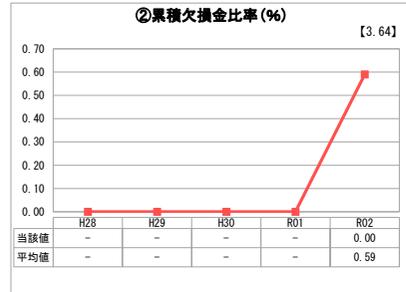
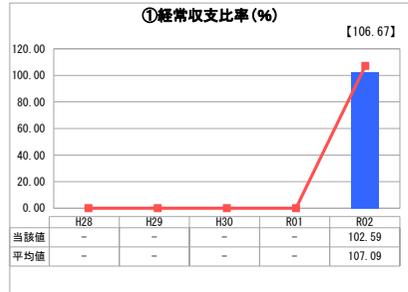
東京都 三鷹市

業務名	業種名	事業名	類似団体区分	管理者の情報
法適用	下水道事業	公共下水道	Aa	非設置
資金不足比率(%)	自己資本構成比率(%)	普及率(%)	有収率(%)	1か月20m ³ 当たり家賃料金(円)
-	46.12	100.00	90.00	1,258

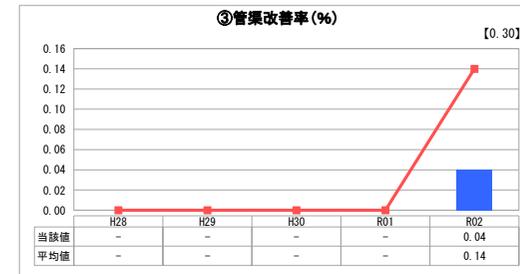
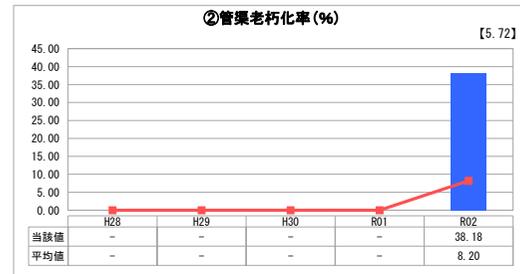
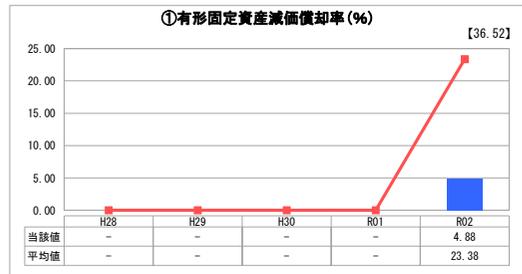
人口(人)	面積(km ²)	人口密度(人/km ²)
190,126	16.42	11,578.93
処理区域内人口(人)	処理区域面積(km ²)	処理区域内人口密度(人/km ²)
190,774	16.50	11,562.06

グラフ凡例
■ 当該団体値(当該値)
— 類似団体平均値(平均値)
【】 令和2年度全国平均

1. 経営の健全性・効率性



2. 老朽化の状況



分析欄

1. 経営の健全性・効率性について

①経常収支比率は、単年度の収支が黒字であることを示す100%を上回っており、累積欠損金比率も0であることから、経営状況は健全な状況にあると言えます。

市全体の財政状況等に鑑み、企業内の現金預金の残高が過大とならないようにしているため、③流動比率は、類似団体平均を下回っているものの、④企業債残高対事業規模比率は類似団体や全国平均を下回っており、長期的な債務支払能力は良好となっています。

⑥汚水処理原価は全国平均や類似団体平均よりも下回っており、適切な数値と言えます。

⑤経費回収率は平成26年度の使用料改定以降は90%台で推移しており、令和2年度は97.09%となりました。今後も使用料収入の確保とともに、汚水処理コストの削減を図っていきます。

⑦施設利用率は、平均値と同水準で、効率的かつ安定的に利用されており、今後も同水準が見込まれます。

⑧水洗化率は、全国に先駆けて取り組んでおり、100%となっています。

2. 老朽化の状況について

②管渠老朽化率は、類似団体平均と比べて高くなっていますが、これは本市の下水道事業が全国に先駆けて公共下水道100%整備を達成するなど、早期に着手したことにより、老朽化した管渠が多いためです。今後も順次更新期を迎えるため、三鷹市下水道再生計画に基づき、優先順位の高い下水道施設から、点検調査及び長寿命化改修を図っています。

また、処理場（東部水再生センター）については、上位計画である「多摩川・荒川等流域別下水道整備総合計画」に流域編入が位置付けられていることから、流域編入を想定しながらも、その間の適正な処理水質を維持するため、施設や設備の長寿命化に取り組んでいます。

全体総括

・本市では、下水道事業の総合的・計画的な事業展開と財政運営の見直しを明らかにした「三鷹市下水道経営計画2022（改定）」（令和2年3月改定）を経営戦略に位置付け、本計画に基づいて、健全な下水道経営のもと、安定した下水道サービスを引き続き提供することに取り組んでいます。

・下水道施設の老朽化による更新が順次必要となってきたことから、今後も引き続き大きな財政負担が想定されます。そのため、効率的かつ効果的な事業運営に努めるとともに、優先度をつけた計画的な事業展開を図ります。

・令和2年4月1日より経営の健全性や計画性・透明性の向上を目指し、地方公営企業法の適用を一部適用しました。

※ 「経常収支比率」、「累積欠損金比率」、「流動比率」、「有形固定資産減価償却率」及び「管渠老朽化率」については、法非適用企業では算出できないため、法適用企業のみ類似団体平均値及び全国平均を算出しています。